



福岡支部総会状況と支部活動状況

本年度の支部会では、現在の大学のカリキュラムやコロナウイルス対策の取り組みなどを中心に話を進めていきました。

まず、小松教授より1年次から6年次までの学力向上カリキュラムについて説明がありました。1年次では、クラスは成績順に分けるのではなく、学科で分け、全員で切磋琢磨し合える環境を作りあげていくこと、2・3年次では、課題の提出を求め、自己学習能力を定着させていくこと、4年次では、CBT/OSCE への合格に向けて、早々から、薬ゼミの講義や実習を行い、基礎知識を身に付けていくこと、6年次では、4月から国試までの期間は薬ゼミや大学教員の指導の下、過密な勉強スケジュールを組み立て、確実に合格へと結びつけることを目標に行っていくといった説明がありました。

また、今年度より、新設した看護学部の平田教授より、看護学部の概要について説明がありました。本校の看護学部は薬理学教育をどこよりも強く、薬学に強い看護師を作りあげていくという理念の基、設立され、このコロナウイルスの中で Web 授業や分散登校といった形でカリキュラムに沿って取り組んでいるとの説明がありました。

加えて、保護者の質疑応答では、オンライン講義に関する質問が多く見受けられました。

「オンライン講義で、お金やタブレット端末やパソコンの支給は無いのか?」、「テレワークはいつ終了するのか?」、「オンライン講義で補うことができない講義の対応はどうするのか?」などが挙げられました。大学からの回答では、「オンライン講義に関する大学からの補助は今のところ予定していないがテレビとスマホを繋ぐケーブルなど提供できたらと考えている」、「テレワークは今後の様子を見ながら、7月28日に全員分散登校できるようにする予定」、「オンライン講義で補うことができなかった講義に関しては、補習や分散登校で補う予定」といった話がありました。

